ケイトリン通信

平成30年
（2018年）10月5日
明石市立明石商業高等学校
明石市魚住町長坂寺1250
電話番号（078）918-5950
発行責任者 西　真未

体育大会

ケイトリンが初めての日本の体育大会を体験しました。オーストラリアの体育大会はSports DayやAthleic Dayと言って、和気あいあいとした雰囲気で体育大会が行われます。どちらかと言えば「イベント」の要素が強いように思います。

また、ケイトリンも書いているようにクラス単位で競うのではなく そもそもホームルームという概念がない）ハウスやケアグループと言って学年が縦割りで色んな学年が混在したチームで競い合います。チームごとにチームカラーがあり、フェイスペインティングをしたり、その色のアイシングを使ってカップケーキを作ってくる生徒もいます。

ちなみに私がいたオーストラリアの高校では朝のSHRもそのグループでやっていました。英語には敬語がないので、学年関係なくすごくみんな仲が良いです。バディという制度もあって、バディの誕生日には相方が甘い甘いケーキを焼いてきて皆で食べたりもします。

まだまだ話せばきりがないので、気になる人はぜひまたケイトリンに直接聞いてみてください。

日本みたいにオーストラリアも体育大会があるけど色んな違いがあります。

まずは綱引きの作戦が全くありません。日本の体育大会にちゃんとした作戦があってよかったと思います。ただ強い人が勝った訳じゃなくてちゃんとやり方をした人達が勝ちました。

オーストラリアに日本みたいな野球のグラウンドじゃなくてサッカー競技場のような草がいっぱいでみじかく切ってある所に体育大会をします。皆は出番を待っている時に友達とピックニックのように木の下に座って見ます。

日本の体育大会は一クラスがチームです。オーストラリアは入学式から生徒の全員が四つのハウスと言うチームに分かれています。ハッリー ポッターみたい。体育大会にそのハウスを使います。ハウスはそれぞれのチームの色があるからたくさんの人はその色のコスチュームを学校で着替えます。オーストラリアにショットプットや槍投げや高跳びや走り幅跳びなどをします。

日本の体育大会は色んな変なゲームが含まれています。ボア引きや人間ブリジやタイヤ引きやムカデ競争やボア倒しなどはオーストラリアにしません。日本の体育大会の変なゲームは全部チームワークをしないと勝てません。